

■インド：2011年度の電力供給量、前年度比8%増

2012年4月26日付の報道によると、インド中央電力庁は、2011年度（2011年4月～2012年3月）の電力供給量（再生可能エネルギーによる発電を除く）が、2010年度比8.05%増の8,764億3,700kWhであったと発表した。内訳は、火力が同6.53%増の7,084億5,000万kWh（石炭焚6,126億7,000万kWh、ガス焚922億6,000万kWh、他）、水力が同14.15%増の1,304億3,000万kWh、原子力が同22.86%増の322億7,000万kWh等となっている。しかし、電力需要を下回っている状況には変わりなく、電力量で8.5%、ピーク時で平均11.1%が不足した。2011年度末時点の発電設備容量は、前年度末から2,600万kW以上増え1億9,962万7,000kWとなっている。内訳は、火力1億3,135万3,000kW（石炭焚1億1,202万2,000kW、ガス焚1,813万1,000kW、他）、水力3,899万kW、再生可能エネルギー2,450万3,000kW、原子力478万kW。